平成30年度　学校経営シラバス（上士幌高校）

学校の現状

○創立68年　全日制普通科2間口
　生徒数169名
○上士幌町中学生の15%前後の生徒が入学
　帯広・音更出身が全体の7割以上を占める
○バランスの取れた教員スタッフ
　50代・3名 40代・4名 30代・8名 20代・3名
　平均年齢39.1歳
○多様な進路希望の実現
　H29年度:進学者41名【大学7名・短大8名・各種専門学校26名】、就職者21名 他
○部活動の活躍（加入率昨年6割程度）
　卓球・ソフトテニス部全道大会出場

学校の課題

○「さらなる」協働体制の構築
○授業改善の推進
○基礎学力の定着と**自ら学ぶ意欲の向上**
○自分の個性と他人の個性を大切にする教育の推進
○地域から信頼され選ばれ応援される学校づくり

校訓　敬愛　創造　自律

学校教育目標
1　持続可能な社会づくりをめざし、知識を深め、自ら課題解決する能力と創造力を養う。
2　心身の調和を図り、健全な人格の形成に努める。
3　適性を重視した進路目標を確立し、その実現に努める。

教育の指標　思いやりの心を持ち　自ら考え　自ら学び　自ら行動する人となろう

本校への期待

○生徒一人一人を大切にする教育
○地域に信頼される教育の推進
○進路・部活動実績の向上
○身だしなみや礼儀
○楽しく魅力ある学校
　（体験的活動、学校行事）

学校経営方針

十勝管内北部の伝統ある全日制普通科校として、生徒、保護者、地域の期待に応える学校づくりを進めるため、次の事項について重点的に取り組み、教育の質を高める。
1　生徒個々の能力と才能を伸ばし、学ぶ意欲と確かな学力の向上を図る。
2　教職員の協働意識を高め、組織連携による指導体制の充実を図る。
3　当面の課題への対応と将来ビジョンを持って教育指導に当たる。
4　地域との行動連携により、開かれた学校づくりを進める。

校長のビジョン

○保護者・地域への学校理解を深め
　生徒と共に成長できる教育の推進

めざす学校像

活力あふれる十勝管内北部 の伝統校
○時代を生き抜く力を育てる学校
○進路実現に向け、生徒の第一希望を叶える学校
○地域の期待に応える学校

学校評議員会

生徒の能力を伸ばす教育課程の編成・実施

○基礎・基本の定着と学力向上（授業改善、アクティブラーニングの充実、観点別評価の活用など）
○「総合的な学習の時間」における学習スキル、人間関係スキル学習（キャリア教育、人間関係づくりプログラムなど）
○資格取得の推進

評価の観点
○基礎学力が定着したか（学力等実態調査等の検証）
○学習意欲が向上したか（家庭学習時間、資格取得者の増加）
○授業改善の意識が高まったか（授業評価など）
○進路実績が向上したか

教職員の意識改革と資質向上

○「生徒のために」協働体制の確立
　（学年と各分掌の連携強化、校内支援体制の充実）
○普段の授業研究や校外での研修への積極的な取組
○授業力向上

評価の観点
○協働意識の高揚が図られたか
○授業評価、公開授業、校内研修を効果的に活用できたか
○学校経営方針、重点事項を判断基準として浸透しているか

地域と一体となった学校づくり

○HPや学校だより、PTAだよりなど、積極的な情報提供
○地域の教育資源の活用
○**生徒確保に向けた中学校訪問、学校説明会など**
○振興会との連携充実（生徒募集活動等）
○小中高の連携推進（かみしほろ学園等）

評価の観点
○生徒、保護者、地域にわかりやすく情報提供したか
○家庭や地域との連携が図られたか
○学校評価・PDCAサイクルに基づく学校改善が図られたか
○入学者選抜における出願者数が増えたか

学校関係団体　○ 父母と教師の会　○ クラブ後援会　○ 北海道上士幌高等学校振興会